

福島は今

2011年3・11の地震・津波・福島第一原発事故から7年がたとうとしている今“福島”の現状を武藤類子さんが語りました。

福島第一原発3号炉は使用済み核燃料の取り出しの為やぐらがつくられている状況。汚染水は1000t入るタンクが900基。40万立米の瓦礫。

汚染水の処理をしてもすべて除去しきれないので、「除去できないトリチウムが入っている汚染水を海へ流して処理」と言いだす原子力規制委員会の更田委員長。



原発の排気筒に損傷があっても10~20s vと高濃度の汚染状況で直せない。除染土を入れたフレコンパック(1t)が220万個いたるところにおかれている。廃棄物の減容化の為仮設焼却炉がつくられ(富岡町では鹿島と三菱重工のジョイント623億円)放射性物質を含んだものを焼却しています。

福島県の県民調査・健康診断の結果は、193人の人が“甲状腺癌あるいは甲状腺癌の疑い”でした。この調査結果193人に反映されていない経過観察の人からも甲状腺癌が発症している事例も報告されています。

このような厳しい現実の中“帰還政策”が取られている。避難指示解除準備区域から居住困難区域、そして帰還困難区域の地域でも帰還を推進。其の基準は3・11以前の基準1ms v/年間でなく“20ms v/年間”。・・・安全基準としていいのだろうか？

帰還政策として住居の無償支援が打ち切られ(H29年3/31)多くの方が困難な状況に置かれています。山形県では雇用促進住宅に住んでいる避難者に対し住居明け渡し訴訟がかけられています。

いったい帰りたくても帰れない状況にしたのは誰？故郷を壊したのは誰！東電と国は誰ひとり責任をとっていません。被害を受けた住民が、被災者支援の打ち切りの結果、訴えられるなんて天と地が真逆です。

武藤さんは言いました「私たちが求めているのは、生命・健康の安全であり、安心に暮らすことです。本当の帰還できる状況をつくるのが復興の本質なのに・・・」と。

更に“福島安全神話・放射能安全神話のプロパガンダ”が強力に押し進められているとのこと。「福島県環境創造センター」(三春町)の交流館「コミュタン福島」には12万人の小学生が訪れ(小学5年生には無料バス)、“ベータ線をチョコで防ぎましょう”などといったゲームで楽しみ、安心教育を受けています。その結果は小学生の感想文にも表れています。「これまで放射能は怖いものだと思っていました。でもここで、自然界の食物にも放射能があることを知って、とても安心しました。放射能が役に立っている事を知りました。これで福島への差別もなくなると思いました。」と小学生は書いています。

又福島第一原発事故現場へ高校生の見学をさせています。放射線管理区域では18歳以下の者は働けないのに、其の区域より放射線量が高い現場の見学です。確実に高校生は被曝させられているのです。

福島大学では理工系の授業として福島第一原発事故現場の視察を取り入れている状況です。“安全・大丈夫キャンペーン”で現実を見なくなる危険性が・・・

武藤さんは「“福島県は放射能に汚れている・・・どうしたらいいのか？”といった住民の不安に付け込んだ大丈夫キャンペーンで危険でないのだと思い込むのではなく」「本当と危険の事実を示して、この危険への対応の方法を示すべき。危険性のある現実を見なくていいのか！」と福島の今を静かに批判しました。

最後に原発事故の刑事責任を問う強制起訴裁判について語りました。

2012年に14000人による刑事告訴・告発をしましたが、2013年検察は不起訴。検察審査会は起訴相当と判断すれど検察はまた不起訴。

再び検察審査会で審査。審査会は起訴相当、やっと強制起訴になったのです。初公判は2017年6/30に、二回目は2018年1/26（東京地裁）。

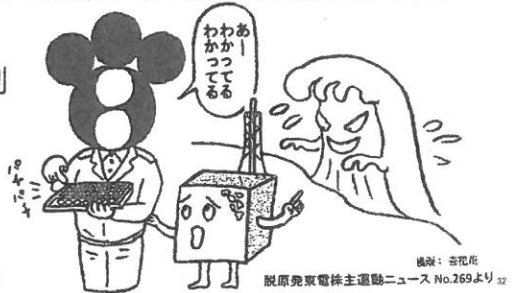
被告の勝俣東電元会長は「原子力や津波の専門知識はなかった・・・だから責任はない」

武藤東電元副社長は「大津波は試の計算で本当に来るとは思わなかった・・・だから責任はない」

武黒東電元副社長は「専門家として補助する立場で権限はない・・・だから責任はない」と責任を否定しています。

これだけの被害を出していても責任を取らない東電・国の姿勢を厳しく批判。正しいことが正しいと言われず、悪いことを悪いと思わない、誤った事実を守ってもらうフェイクの潮流がますます大きくなっています。

間違っていることは間違っているとはっきり声をあげていきましょう。



千葉県議会議員ふじしろ政夫 047-445-9144

福島原発事故の刑事責任を問う

東電元幹部の刑事裁判が開始！



勝俣恒久元会長

武藤栄元副社長

武黒一郎元副社長

被告人(加害容疑者)

ぜひ支援団に入会し、
一緒に原発事故刑事裁判
を支えましょう!



時事通信